

2 μm 逆相カラム YMC-UltraHT シリーズの特長

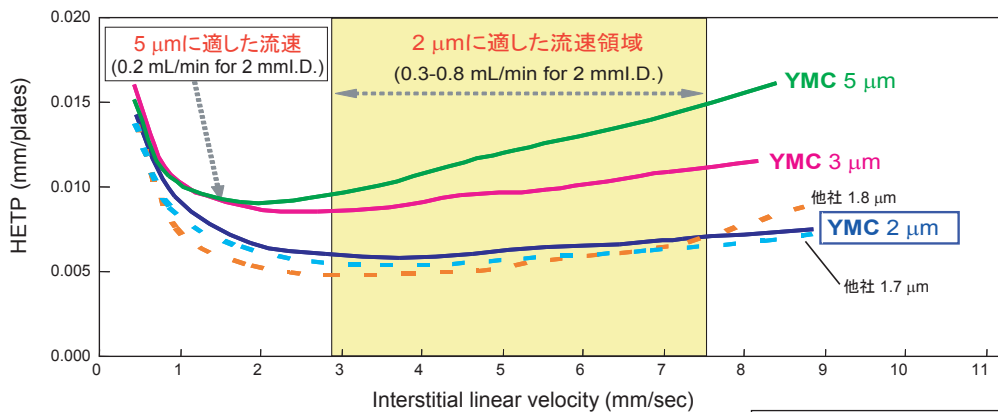
F070710A

YMC-UltraHT シリーズは超高速LCに最適な2 μm逆相カラムです。新開発の2 μm粒子を最密充填することにより、最小限の圧力損失と超高速・高分離のベストバランスを実現しました。

YMC-UltraHT シリーズでは、超高速LC用のsub-2 μmと同等のカラム効率を60%以下のカラム圧力で得ることができます。

最小限の圧力損失と超高速・高分離のベストバランスを実現

線速度とカラム効率の関係 (Van Deemter curves)



横軸：線速度 (カラム長を空保持時間(t_0)で除した値、値が大きいほど流速が大きい)
縦軸：理論段高さ (カラム長を理論段数で除した値、値が小さいほど分離能が高い)

Column □ : 50 X 2.0 or 2.1 mmI.D.
Eluent □ : acetonitrile / water (60/40)
Temperature □ : 25°C
Sample □ : Butyl benzoate

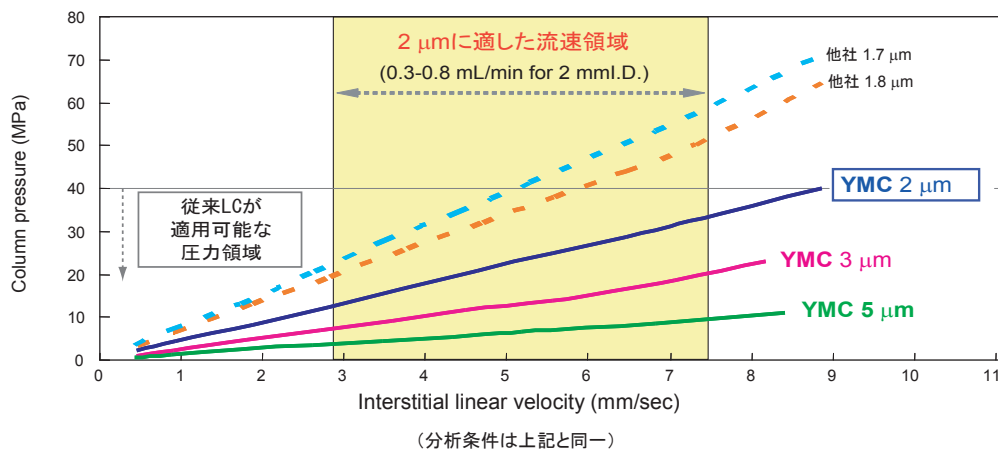
ポイント 1

- 2 μm以下では線速度が2 以上でもHETPを維持
⇒ ① 線速度 (流速) を上げて分離能が低下しない
② 流速を上げて短時間で分析するのに有利

ポイント 2

- YMC 2 μmは1.7 μmや1.8 μm (sub-2 μm) と同等のカーブ
⇒ 2 μmでありながら sub-2 μmに匹敵する分離能

線速度とカラム圧力の関係



(分析条件は上記と同一)

ポイント 3

- YMC 2 μmの圧力は sub-2 μmの約60%以下